

三八上北森林管理署の採材検討会に参加

令和7年8月22日(金)、青森県七戸町の東天間館国有林内において三八上北森林管理署主催の採材検討会が開催され、青森事務所から職員1名が参加しました。

当日は、十和田労働基準監督、県・管内市町村担当者、林業関係団体や管内林業事業者など70名を超える参加を得て開催されました。三八上北森林管理署長の挨拶後、署担当者より事業概要等について説明があり、青森事務所から東北森林管理局管内の需要動向について、今年度の委託販売結果、スギ等針葉樹の4m採材の推進、請負事業実行時の留意事項について説明しました。続いて署の担当者から採材指示等について説明があり、実際の採材検討に移りました。



開会式の様子



参加者が4班に分かれて採材検討

会場に準備されたヒバ2本、広葉樹1本、スギ1本の計4本の供試木を、参加者が班に分かれてそれぞれ採材について検討し発表。発表結果について青森県森林整備事業協同組合、青森県森林組合連合会の担当者に解説していただき、青森事務所からも採材に当たっての留意事項などを情報提供させていただきました。

採材検討後は、人工知能(AI)が人間を検知して警報する「人検知AIカメラ」の紹介が行われ、検討会は無事終了となりました。

青森事務所では、今後も各署で開催される採材検討会等に積極的に参加し、国有林材の有効利用や労働災害の未然防止に貢献したいと考えています。



発表結果について解説



人検知AIカメラの紹介